

ぬのめ 布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

きづがわすいけいぬのめがわ みずしげん きこう ぬのめ
木津川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、前線に伴う降雨により、6月1日22時から6月3日8時までの総雨量が162mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約148立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、布目ダムでは防災操作※を実施し、ダム下流の興ヶ原水位局観測所付近で、河川水位を約0.1m低減(推定)させることにより、下流沿川の洪水被害軽減を行いました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

令和5年6月7日



独立行政法人水資源機構
きづがわ
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ
奈良市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所長 久保田 ぐほた
住 所：奈良県奈良市北野山町869の2
電 話：0742(94)0231(代表)

布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

6月1日、午後22時頃より降り始めた前線による降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、6月2日12時から13時の1時間の雨量が最大19mm、総雨量は162mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約148立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、流入量が増加し、2日12時10分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

今回の防災操作の概要

	流域平均総雨量	ダムの減水効果が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム流下量	ダムに貯留した量
布目ダム	162mm	令和5年6月2日 13時20分	毎秒148m ³ /s	毎秒106m ³ /s	毎秒42m ³ /s

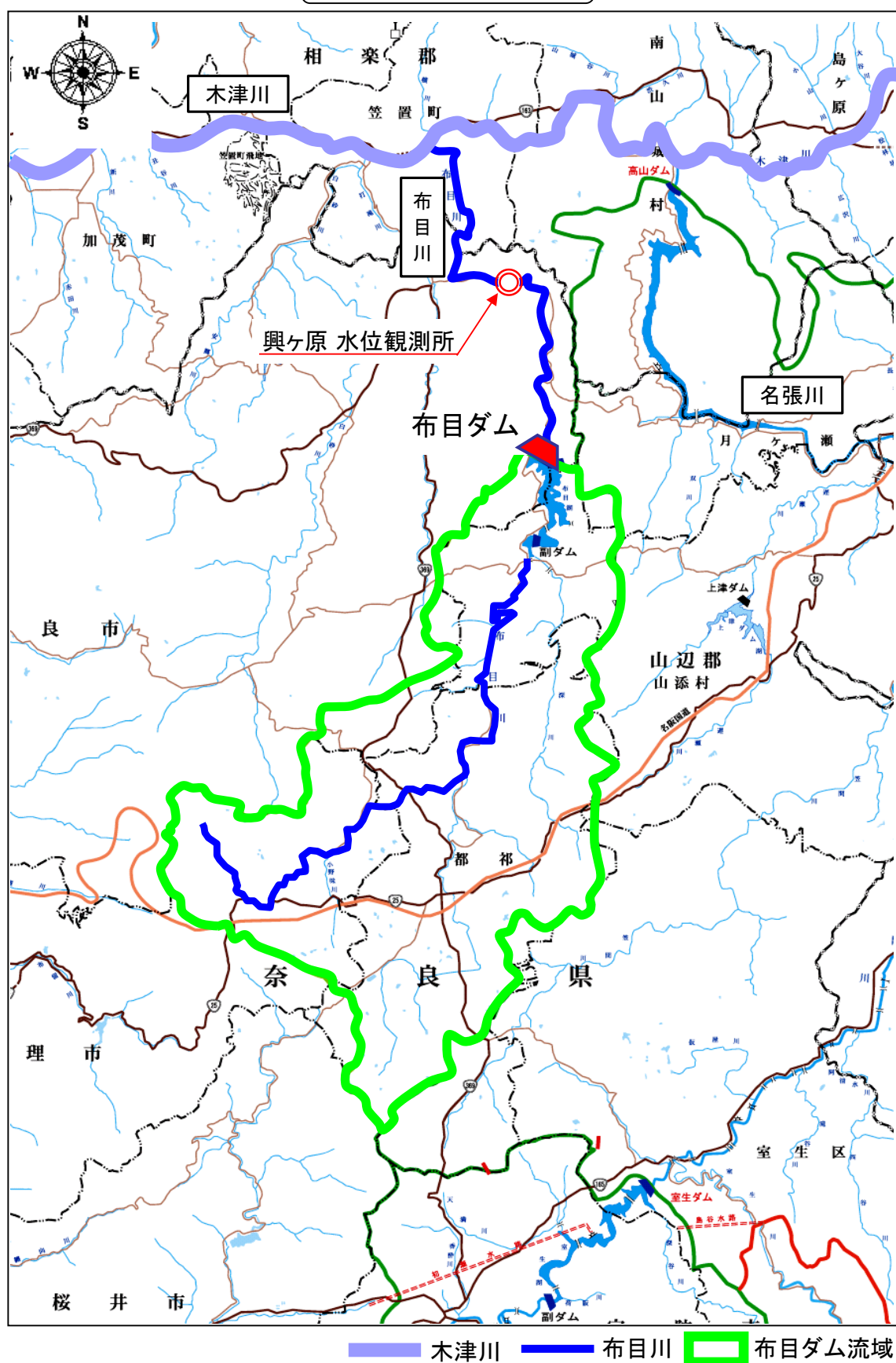
これまでの布目ダムにおける管理開始以降の最大出水記録

	記録年月日（原因）	総雨量	最大流入量
布目ダム	H29. 10. 22 （台風21号）	270mm	毎秒210m ³ /s

ダム下流の興ヶ^{おくがはら}原水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を約0.1m低減したと推定され、下流の洪水被害軽減を行いました。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

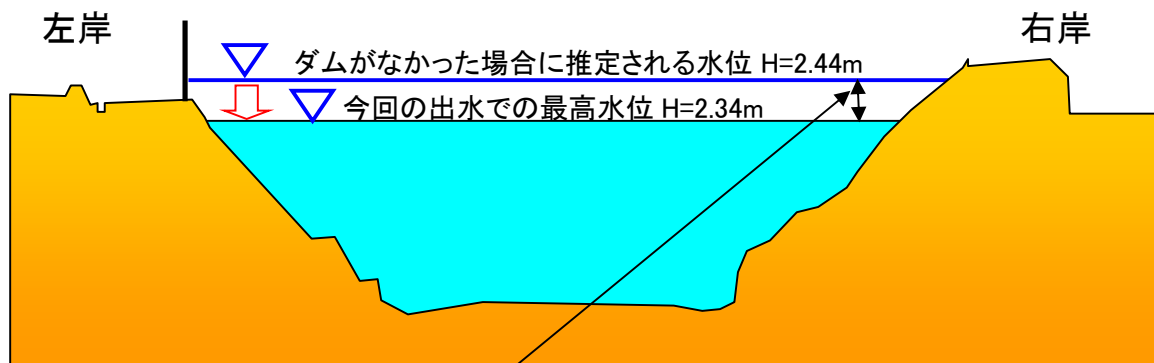
布目ダム流域平面図



布目ダム下流河川の状況

令和 5年6月2日(前線)

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)



ダムにより約0.1mの水位低減効果がありました。

※興ヶ原地点は、ダムから約6km地点

布目ダム 洪水調節の実施状況(興ヶ原地点)

防災操作前の状況

6月1日 11:00
ダム放流量 $19\text{m}^3/\text{s}$

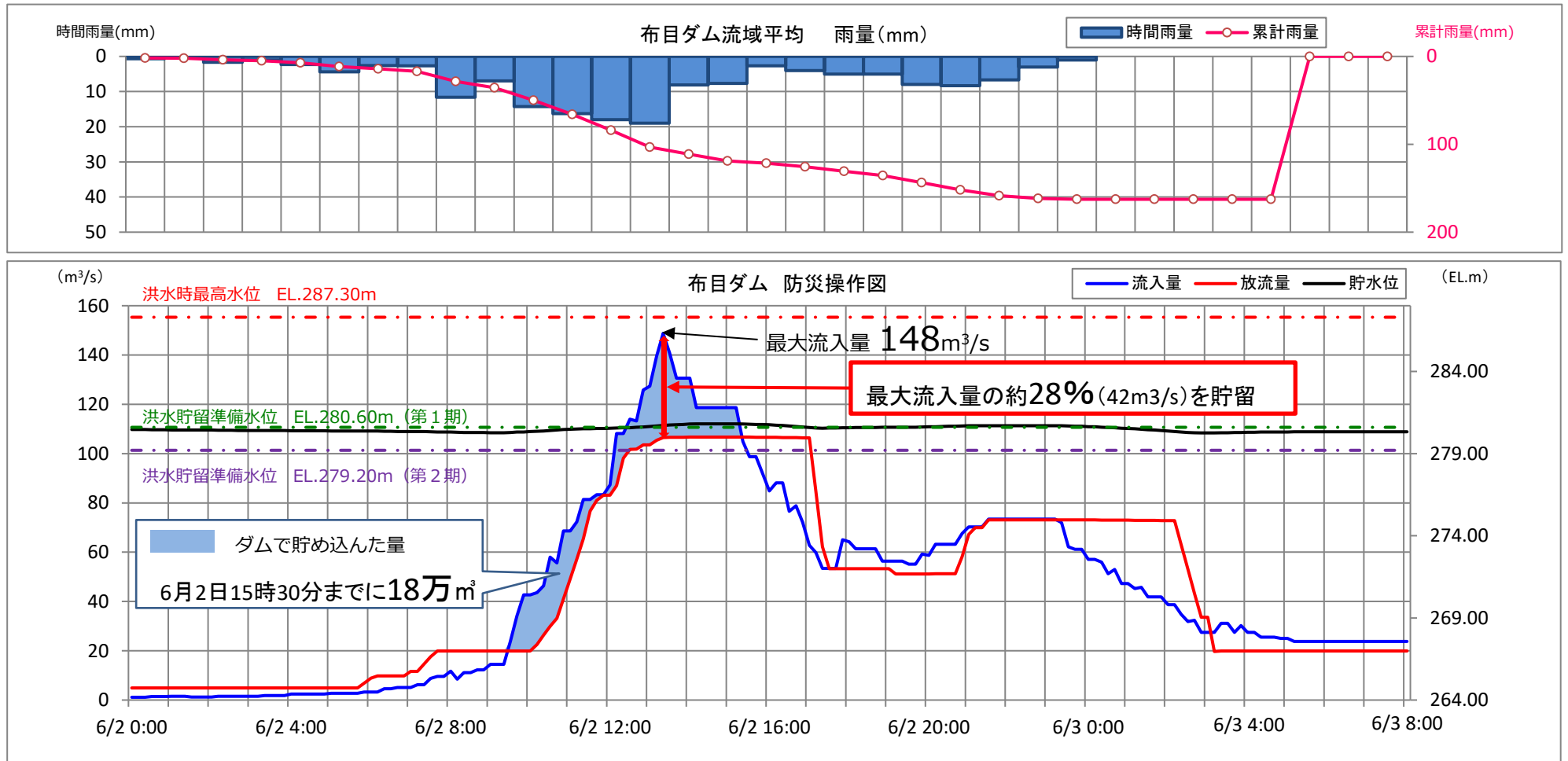
防災操作時の状況

6月2日 14:40
ダム放流量 $106\text{m}^3/\text{s}$

洪水調節

-- ダムがなかった場合に推定される水位

布目ダムの防災操作



布目ダム概要

【ダムの諸元】

ダム型式：重力式コンクリートダム

(わきダム：ロックフィルダム)

堤体積：約331千 m^3 (わきダム：約271千 m^3)

堤高：72.0m (わきダム：18.4m)

堤頂長：322.0m (わきダム：128.0m) 合計450.0m

流域面積：75 km^2

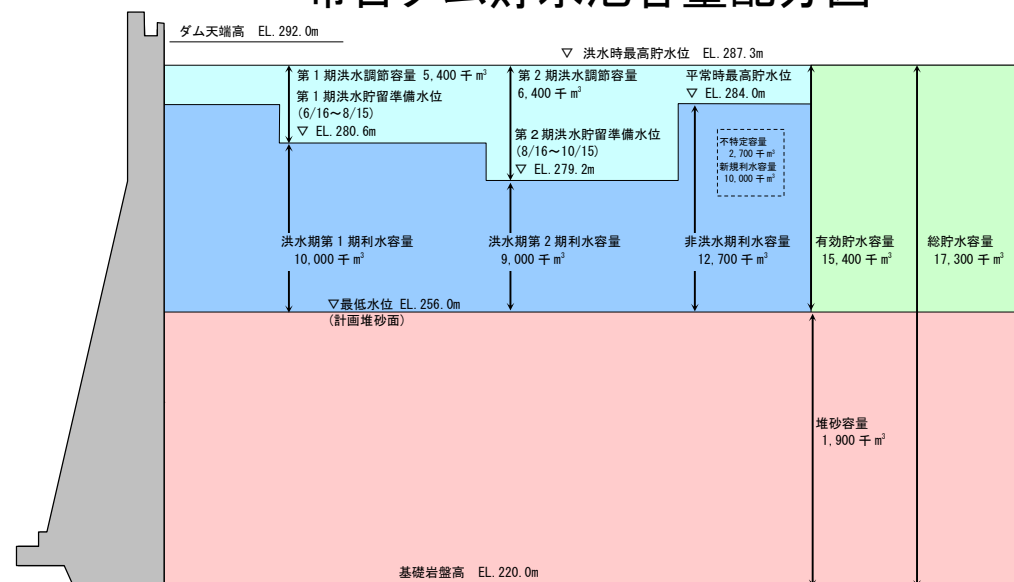
湛水面積：0.95 km^2

管理開始：平成4年4月

布目ダム全景



布目ダム貯水池容量配分図



【ダムの目的】

1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 水道用水

水道用水として、奈良市に最大1.1263 m^3/s 、山添村に最大0.0097 m^3/s を供給する。

3. 流水の正常な機能の維持

布目川の既得用水の補給等、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。